

令和3年12月14日

各位

札幌自動車運輸株式会社
代表取締役社長 上野聖二

弊社におけるDX戦略について

1. はじめに

現在の日本経済を取り巻く環境は、少子高齢化を背景に労働需給が一段と逼迫する中、長時間労働の是正や同一労働同一賃金を目的とした働き方改革関連法が順次施行されております。一方で2020年に拡大したCOVID-19の影響もあり、さまざまな分野でデジタルによる革新が急激に進み、物流業界に対する社会のニーズは益々多様化の様相を呈しております。これからの変化の激しい時代に向け、物流機能の高度化が求められる中、単なるデジタルの導入ではなく「デジタルの活用による変革」を実現する為、弊社はデジタルイノベーションを積極的に活用し、この変わりゆく環境に柔軟に対応しつつ、お客様がより満足されるサービスを誠実に、安全に迅速に提供するべく社を上げて取り組んでまいります。

2. DX戦略概要

経営構造改革の促進を図るため、以下の3つの重点施策に取り組んでまいります。

① レガシーマイグレーションによる持続可能なシステムの構成

IT関連の技術は年を追うごとに変化しており、古くなったレガシーシステム※1では最新のプログラムや要求される情報処理の能力・量に対応することが難しい為、システム障害が発生するリスクが高まる上、補修や機能追加などを度々繰り返すことでブラックボックス化したレガシーシステムでは、システム障害が重症化する傾向があると言われております。その他、度重なるカスタマイズによる処理パフォーマンスの低下、保守対応できる技術者の高齢化による人材不足などの問題が発生します。これらの諸問題や変化するビジネスモデル、技術進歩などに対応する為、レガシーシステムのマイグレーションを行います。

※1…過去の技術や仕組みで構築されているシステムを指す用語です。1980年代に多くの企業が導入したメインフレームやオフコン（オフィスコンピュータ）を使ったシステムを主にレガシーシステムと呼びます。

② データセンターの活用等による BCP 対策の強化、社内ネットワーク再構築によるセキュリティの強化

近年、異常気象による事業への影響が次第に顕在化してきており、業務資料やデータを自社内に保管するだけでは、災害など不測の事態に見舞われた際、被害によりそれらが失われるリスクが高くなっております。そのような有事の際におけるシステムの安定稼働とデータの保護を図るため、データセンターへのシステム移設を行います。また、社内ネットワーク環境の整備によるセキュリティの向上を図ります。

③ デジタル化とデータ活用による業務プロセスの改善とサービスの変革

デジタル革新による社会の急激な変化と少子高齢化による人材不足の影響により、物流ビジネスは大きな変化を求められております。弊社は、従来の手法にとらわれることなく積極的に IT 技術を活用することで、伝票データのデジタル化や EDI の拡張の導入等によるデータ活用を促進し、変化・多様化するニーズに応えるとともに業務プロセスの改善と輸送品質の向上に努め、物流サービスの変革を図ります。

3. DX 推進体制

札幌自動車運輸株式会社代表取締役社長を統括責任者、管理本部長を実務責任者とします。情報システム部は各部署の実務担当者と協議を行い、要件定義をしながら不合理のない全社連携の業務体制を確立します。また全社員向けのデジタルリテラシー向上、現場の DX 担当者の育成と強化を推進します。

4. システム環境整備体制

社内システムインフラの設計・メンテナンスを担当する情報システム部が、社内システムの要件定義から導入までプロジェクトマネジメントを行い、3つの重点施策の推進を図ります。それぞれのシステム改善案件は費用対効果を基に実施を判断しており、毎年予算化された費用から投資を行っています。

5. 達成度を測る指標

戦略施策の進捗をもって DX 戦略の全社的な達成度の指標とします。各施策の進捗状況につきましては、別途、弊社 HP にて公表いたします。